



ポケット形補聴器

コンサート
コンサートパワー

取り扱い説明書



ご使用前に必ずお読み下さい。

この度は、ベルトーン社製の補聴器をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

この説明書は、上手に装用していただくためのものです。必ずお読み下さいますようお願いいたします。特に下記のマークの部分は医療機器としての補聴器を、より適切かつ安全に使用していただくために大切な記述ですので、ご留意下さい。



警告



注意



禁止



指示

安全上のご注意

必ずお守り下さい。

- * ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読み下さい。
- * ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守り下さい。

次の区分は、表記内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。



警告 取扱いを誤った場合、「重症を負う可能性が想定される」内容



注意 取扱いを誤った場合、「障害を負う可能性が想定される場合及び物的障害のみの発生が想定される」内容

次の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。



禁止 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容



指示 この絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容



警告

必要以上の過大音による聴取はさけて下さい。
過大音の長時間聴取は聴力低下を招く場合があります。



注意

補聴器は本人以外、絶対ご使用にならないで下さい。本人以外の使用については一切責任を負いかねます。



禁止

ご自分で補聴器を分解したり、修理・改造は絶対に行わないで下さい。(故障の場合は、購入店へご相談ください。)



指示

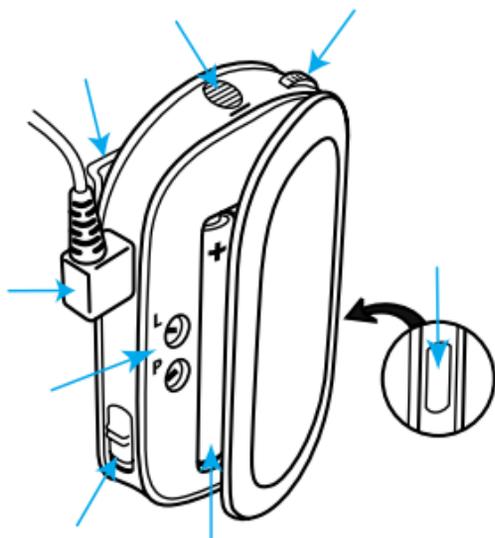
補聴器を装用し聞こえの異常、耳の炎症や痛み、アレルギー反応などの異常が出た場合は、装用を一時中止し、購入店や耳鼻科医にご相談下さい。

も く じ

I . 各部の名称.....	1
II . 装用前の準備.....	3
III . 操作方法.....	5
IV . 日常の手入れと留意点.....	14
V . 故障では？と思われたときは.....	18
VI . より良い聞こえと、快適な補聴器装用のために ...	23
VII . 補聴器性能データ.....	27

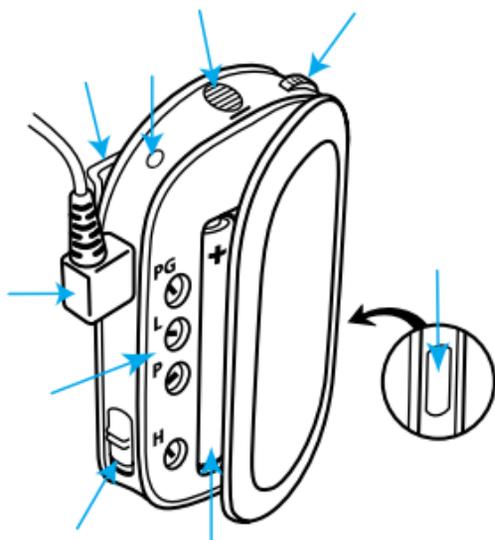
I . 各部の名称

【コンサート】



- ①電池室
（バッテリーロッカー）
- ②電源スイッチ
- ③調整器
- ④イヤホンコード
- ⑤クリップ
- ⑥入音口（マイクロホン）
- ⑦利得調整器（ボリューム）
- ⑧プログラムボタン

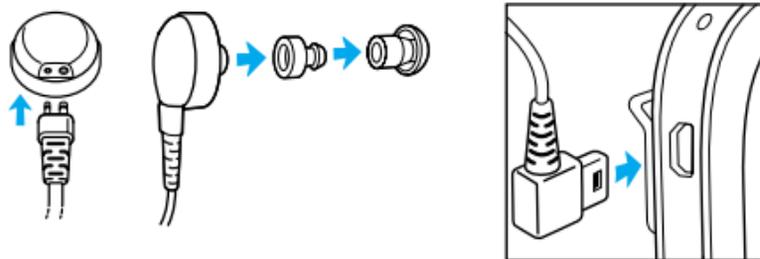
【コンサートパワー】



- ①電池室
（バッテリーロッカー）
- ②電源スイッチ
- ③調整器
- ④イヤホンコード
- ⑤クリップ
- ⑥入音口（マイクロホン）
- ⑦利得調整器（ボリューム）
- ⑧プログラムボタン
- ⑨電池表示（パワーランプ）

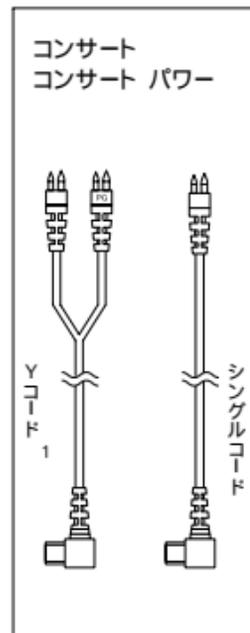
Ⅱ . 装用前の準備

【コンサート】【コンサートパワー】



- ①イヤホンコードを接続します。
- ②イヤホンに耳栓を接続します。
- ③コードを本体のイヤホンソケットに接続します。 2

1 Yコードは両耳装用コードになります。
(コンサートパワータイプのみ使用可能)
2 本体のソケットには専用イヤホン以外は
差し込まないように注意してください。



イヤフォーム(特別注文耳栓)

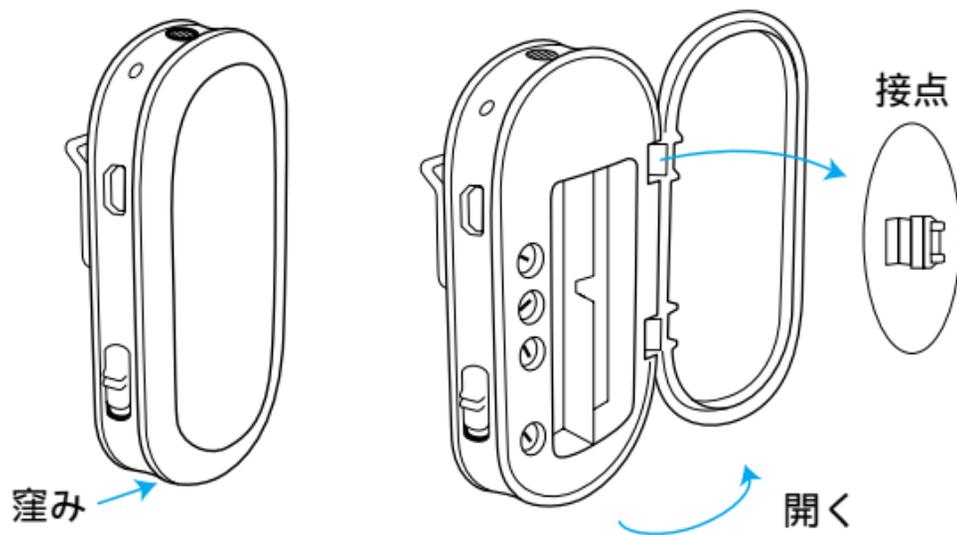
音漏れを防ぎ、音を効率的に聞くにはあなたの耳に合わせて作る特別注文耳栓(イヤフォーム)をお勧めします。
耳にピッタリおさまり、外れる心配がありません。



**スタンダード
(ナイロンリング)**

Ⅲ . 操作方法

- 1 . 本体下面にある窪み部分を指で押し開いて下さい。

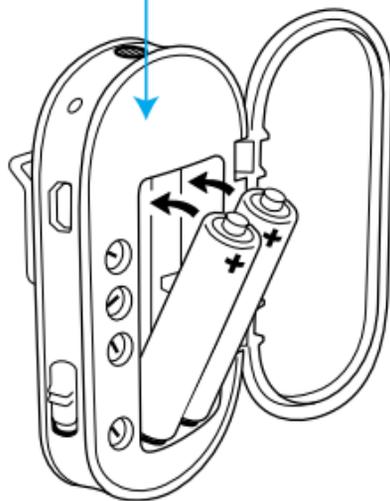


補聴器本体と蓋の接点は無理な力を加えると破損する場合があります。

2. 電池室に所定の電池を入れます。

電池を入れるときは電池の+極面が上になる様に入れます。

電池室



電池を正しく挿入して下さい。電池の+極面と-極面を間違えて入れますと破損する場合があります。

【電池の取り扱い上の注意事項】

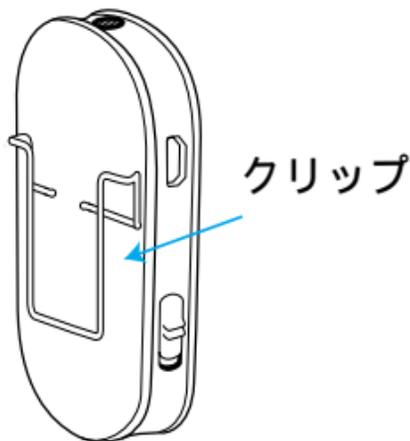
- ①電池は所定の新しい電池を正しくセットしてご使用下さい。
- ②電池寿命が近づくと、『ブー音』が発生したり、又出力低下などが起こったり、補聴器によっては音がひずんで聞こえる場合があります。このような場合はすぐに新しい電池と交換して下さい。
- ③電池を保管する場合は腐食防止のため、必ず補聴器から取り出しておいて下さい。

3. クリップを衣類に固定します。

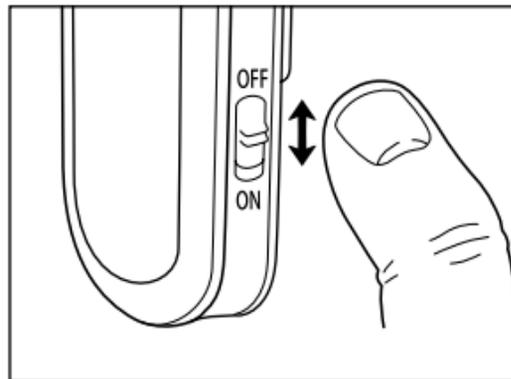
補聴器の落下防止のため衣類のポケットや襟等にクリップではさみ必ず固定して使用して下さい。



補聴器を固定しないと落下時の強い衝撃や水中落下により破損等の可能性があります。



【電源スイッチの使い方】



- ①スイッチを押し下げると電源が入ります。
- ②スイッチを押し上げると電源が切れます。

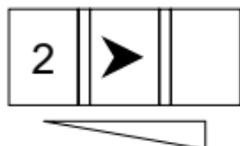


警告

電源を入れるときは必ず、ボリューム最小の位置で行って下さい。ボリュームを過大位置にして、急に電源を入れると過大音により耳を痛める場合があります。

4. ボリュームで適切な音量に調整して下さい。

(乳幼児に装着される場合は専門医や専門家等にご相談下さい。)



小 音量 大

数字 (▶ ~ 10) が大きくなるようにツマミを回すと音量が増えます。

初めて装用される方は、少し小さめの音量で練習してみてください。



注意

音量は緩やかに上げて下さい。急に大きくすると過大音で不快になる場合があります。



警告

必要以上の過大音による聴取は避けて下さい。聴力低下を招く場合があります。

【適切な音量調整の目安】

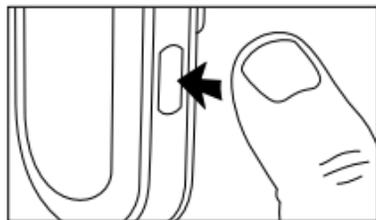
- ①片耳装用のとき：1 m位離れたところから普通の声で話しかけてもらいます。音の出る方に正しく身体を向けて、少しずつ音量を上げていき、話し手の言葉がちょうど良い大きさに聞こえるように調整します。
- ②両耳装用のとき：両耳に補聴器をつけるときは、聞こえの良い耳から先に、①と同様に音量調整をします。反対耳の補聴器は音量を最小にしておきます。片方の調整が終わったら、同じ要領で反対の耳の補聴器を調整し、最後に左右の音の大きさのバランスをとります。

【メモリーボタンの操作方法】

メモリーボタンを使用することにより状況に応じた「数種類の聞こえ」を選択することができます。

【コンサート】

- メモリーボタン 1 標準の聞こえ（基本）
- メモリーボタン 2 マイクテレコイル（MT）
- メモリーボタン 3 テレコイル（T）



【コンサートパワー】

- メモリーボタン 1 標準の聞こえ（基本）
- メモリーボタン 2 ノイズリダクション（雑音抑制）
- メモリーボタン 3 マイクテレコイル（MT）
- メモリーボタン 4 ダイレクトオーディオインプット

メモリーボタンを 2 秒ほど押すことで音を止めることができます。
（ミュート機能）

再びメモリーボタンを押すことで解除することができます。

【調整装置の取り扱い方法】



PG (イヤホン 2 個使用時、片耳調整器)

コードに PG と書かれた側の利得調整

右回し：利得減少

左回し：利得増加

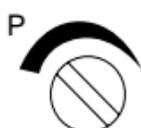
Yコードにて両耳装用可能



低周波カット (音質調整器)

右回し：低音減少

左回し：低音増加



MPO (出力制限器)

右回し：出力減少

左回し：出力増加



高周波カット (音質調整器)

右回し：高音減少

左回し：高音増加

Ⅳ . 日常の手入れと留意点

補聴器は精密な医療機器です。

長期の使用に耐えられるように作られていますが、十分な性能を発揮するには、日常の手入れや取り扱いが大切です。

1 クリーニング

- ①補聴器は毎日、柔らかな布かティッシュで拭いて下さい。
- ②耳栓・アダプターはよく汚れますので、耳栓の中に耳あかがたまっていないか点検して、掃除をして下さい。
耳栓が硬くなり、変色したら交換して下さい。
- ③補聴器の入音口（マイクロホン）にホコリ等が多少付着した場合はブラシ等を用意して除去して下さい。



禁止

水や溶剤は機能を損ねるので使わないで下さい。

2 留意点

- ①補聴器を使用しないときは、必ず電源を切っておいて下さい。
- ②高温・多湿な所、温度差が極端に大きい場合や埃が特に多い場所、及び乳幼児の手の届く所に、補聴器や電池等を放置しないで下さい。故障や事故の原因となります。
- ③補聴器やイヤホン等の落下による強い衝撃や、水中落下等は破損・故障・性能劣化の原因になります。衣類のポケットや襟などに補聴器のクリップで固定してご使用下さい。

- ④イヤホンコードを特に強く引っ張らないで下さい。
断線の原因になります。

- ⑤ヘアスプレーなどかけないように注意して下さい。

- ⑥ストーブの近くや、直射日光の強く当たる窓辺、
車内での放置など、高温下や粉塵の多い所には、
長時間の放置はしないで下さい。

- ⑦電磁波の所では雑音が出る場合があります。

V . 故障では？と思われたときは

まず、次のようなチェックと簡単な処理をして下さい。

「音が入らない」

- ①電池切れ、又は、電池の入れ方が + - 逆ではないか？

➡新しい単4電池の + - を正しく入れ換えてみる。

- ②電源が入っていない、又は音量が絞られていないか？

➡電源を入れ音量を必要なだけ上げる。



③出音口、入音口の耳あかやゴミなどのつまり
では？ ➡ブラッシング、掃除

「音が小さい」

①電池切れ寸前では？
➡電池チェッカーで確認。容量低下の場合は、
電池交換。

②出音口、入音口の耳あかやゴミなどのつまり
では？ ➡ブラッシング、掃除

③聴力の低下では？
➡聴力再測定を行い、聴力の変動はないか
確認をする。

「音がとぎれる」「雑音」

①電池切れ寸前では？

➡電池交換。

②接触不良では？

➡電池と電池接片の簡単な掃除、又は、購入店に相談する。

「ピーピー音（ハウリング）がする」

①耳栓又はイヤモールドが装用耳に、きちんと挿入されているか？

➡正しく挿入し直す。

②音量の上げ過ぎでは？

➡音量を適切に調整する。

「密閉感があり、自分の声が響く」

①初めての装用での不慣れでは？

➡装用感覚と聞こえの練習をする。

「耳の中が痛くなる」

①装用方法は適切か？

➡耳栓・イヤモールドを正しく挿入し直す。

②イヤモールドの形に問題ありそう？

➡購入店に相談する。

「言葉が明瞭に聞こえない」

- ①初めての装用で聞こえに不慣れでは？
➡聞こえの練習や慣れにより、ある程度解決。
- ②入音口のつまりでは？
➡入音口のゴミなど除去。
- ③ボリュームが過小ではないか？
➡ボリュームを聞きやすい音量まで上げる。
- ④うるさい場所で特に明瞭感がないのか？
➡ボリュームを少しだけ下げて聞いてみる。
➡相手にできるだけ近づき、口元の動きや表情も参考にしてみる。
- ⑤カゼなどで聴力の変動はないか？
➡体力回復後に再度試してみる。
➡医師に相談してみる。

Ⅵ . より良い聞こえと、 快適な補聴器装用のために

初めて補聴器を使用される場合は、まず補聴器の使い方と、“聞こえ”に慣れることが大切です。

次に練習要領を参考に、最初は音量を少し小さめに、練習時間も1時間以内位から始めて、少しずつ補聴器の聞こえに10日～3カ月位（個人差あり）を目安にならしていきます。

【聞こえの練習要領】

① 静かな場所で周囲の物音を聞く。



② ひとり言や本の朗読をゆっくりとして自分の声を聞く。

③ 静かな場所で身近な人と、1対1の会話を
する。相手にはゆっくりはっきり話して
もらいます。



- ④ 静かな場所で3～5人位の
人と会話する。誰が話して
いるか注意しながら、聞く
ようにします。



- ⑤ TVやラジオを聞く。普通の音量で、
ニュースなどを聞いてみます。



- ⑥ 会話の聴取にも慣れたら、
日常生活の様々な場所で使
ってみます。



日常会話の理解をさらに高めるには？

視覚も十分に活用しよう！

話し手の口元や表情を、注意しながら聴取すると、会話の理解が楽になります。

周囲の人の理解と協力を得よう！

自然な声の大きさと、はっきり、少しゆっくりと、ていねいに話してもらい、分かりにくいときは、言い回しを替えて話してもらいましょう。

可能ならば両耳に装用しよう！

音の方向感や騒音下での会話聴取能力が向上します。又、両耳加算効果で音量に少し余裕ができ、ハウリング（ピーピー音）もなく、耳にやさしい聞こえが得られます。

VII. 補聴器性能データ

【補聴器性能表】

入力音の入射方向 = 垂直

本データは JIS C5512 : 2000に基づいて測定表示されています。

本仕様は改良のため断りなく変更する場合があります。

実際の電池寿命は使用環境に影響されます。

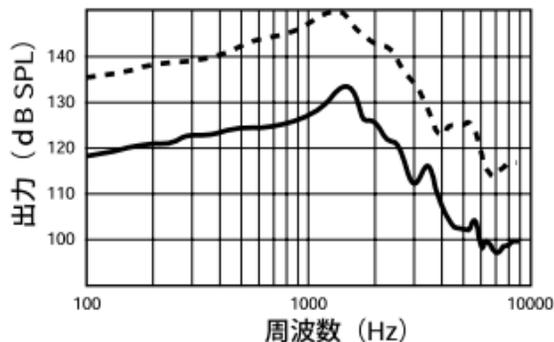
規準周波数はすべて1,600Hz です。

販 売 名	コンサート (Concerto)
タ イ プ	コンサート〔コンサート パワー〕
一 般 的 名 称	ポケット型補聴器
区 分	管理医療機器
使 用 電 池	単四電池1.5V 2本
電 池 電 流	0.7(8.0)mA 以下
90 dB 最大出力 音 圧 レ ベ ル	500Hz : 126(146)dB ± 5 dB SPL 1600Hz : 135(151)dB ± 5 dB SPL ピーク値 : 139(156)dB SPL 以下
最大音響利得 (60dB SPL入力時)	71(81)dB ± 5 dB
全 高 調 波 歪	500Hz : 8.0% 以下 800Hz : 8.0% 以下 1600Hz : 8.0% 以下
誘導コイル入力最大感度	121(140)dB ± 6 dB SPL
等価入力雑音レベル	35dB 以下
電 池 寿 命	116(221“195”)時間

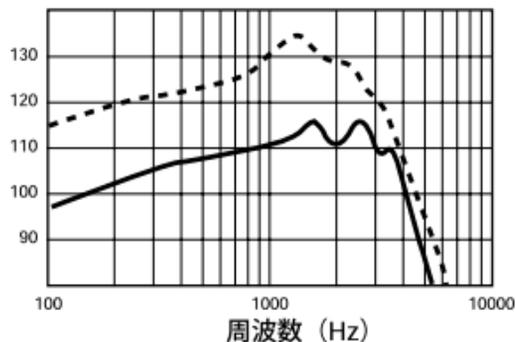
〔 〕はパワータイプ、“ ”は両耳使用時

【周波数レスポンス】

90dB入力最大出力レスポンス

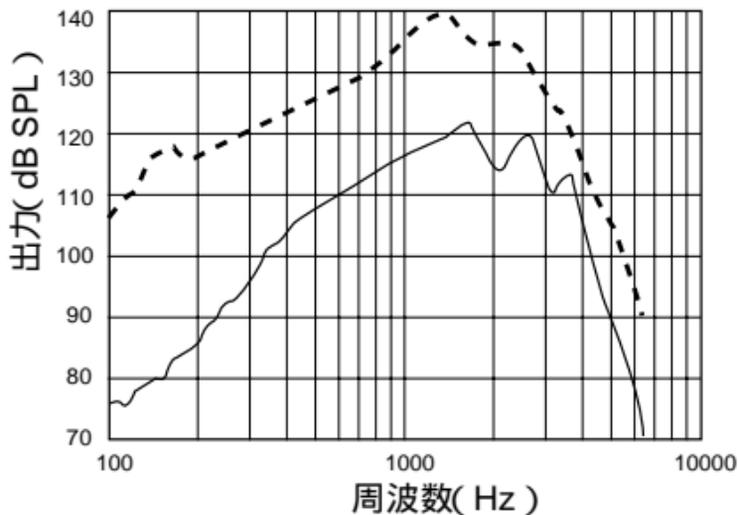


規準周波数レスポンス



—— コンサート
- - - - コンサート パワー

誘導コイル入力での周波数レスポンス



————— コンサート
----- コンサート パワー

「あなたの補聴器」

器 種 :

器 械 番 号 :

電池の種類 :

特 記 事 項 :

購入店

MEMO

MEMO

MEMO

N J H

ニュージャパンヒヤリングエイド株式会社
(ベルトーン輸入総代理店販売元)

東京本社 / 〒162 - 0825 東京都新宿区神楽坂 4 - 5 - 1
TEL 03(3269)4133(代) FAX 03(3269)4633
ホームページ <http://www.njha.co.jp>

支社 / 大阪・福岡・名古屋 営業所 / 札幌・仙台・松山・広島・熊本・鹿児島

許可番号 13B2X00173 13BZ005028 27BZ200116 40BZ200032

印刷22年12月

S - 10121162 - 3000